

とやまワイズメンズクラブ 2021年11月号ブリン

主 題 2021-2022 年度：国際・アジア太平洋地域区・部

クラブ会長主題「リボーンとやま、あらたな第一歩」 会長 清水 淳

- ・ 国際会長主題 “Y's Men with the World” (世界とともにワイズメン) 国際会長 Kim Sang-che (韓国)
スローガン “Heal the World with Love & Dignity”(愛と尊厳で世界を癒やそう)
- ・ アジア地域会長主題 “Make a difference beyond the 100th (100 年を越えて変革しよう)
スローガン “Be healthy!” (健康第一!) アジア地域会長 大野 勉 (神戸ポート)
- ・ 西日本区理事主題 “Challenges for the future” (未来への挑戦)
スローガン 「羽ばたこう! 2022年ワイズ100周年に向かって!」 西日本区理事 新山兼司 (京都トップス)
- ・ 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」 部長 渡辺真悟 (名古屋)

日 時：2021年11月8日(月) 18:00~20:00 会場：富山YMCA 堤町センター

例会プログラム

18時00分 例会開始 司会：島田 茂

開会式 1) 開会点鐘 2) ワイズソング 3) 聖書朗読 4) 祈祷 5) 清水会長挨拶

18時30分 卓話：「長野台風19号被災から2年-復興の歩み」 スピーカー：島田 茂

19時30分 報 告

1) ワイズ活動報告と今後の予定

2) 次回の内容：12月13日(月) 18時 堤町センター予定

内容：① 卓話：クリスマス例会・ゲストスピーカー 関丙俊師

② クリスマス祝会・ミニコンサート - 関丙俊師ギター演奏と歌

3) YMCA 報告 4) ハッピーバースデー 5) ニコニコBOX

19時55分 閉会点鐘 20時00分 閉会

【10月第1例会出席報告】卓話：「日本より豊かなマラウイの話」スピーカー：竹中成行氏

日 時：2021年7月12日(月) 18:00~20:00 富山YMCA 堤町センター

(敬称略)

出 席：清水淳会長、青島明生、池田通則、川淵映子、小泉宗政、菅原美穂子、中島完一、中川喬之、橋本順子、
島田 茂 以上10名 (18名中出席率56%)

ゲスト：渡辺真悟中部部長、川本龍資中部書記、村上 隆、竹中成行 以上4名

欠 席：青山 仁、内山政子、城石芳人、高松朱音、舟崎優満、水野 績、松浦正樹 以上7名

*YMCA 報告 ① 11月3日ファミリーバザー。昨年と同じスタイルで事前に申し込み30名×3部制で行う。

② 学童で田中職員が8月の食事を作られた

③ 夏季キャンプが無事終了した。

④ 裏の駐車場がマンションになるために閉鎖されたので、近隣の有料の駐車場を使ってほしい。

聖書 ルカによる福音書 17 章 1～10 節

1 イエスは弟子たちに言われた。「つまずきは避けられない。だが、それをもたらす者は不幸である。2 そのような者は、これらの小さい者の一人をつまずかせるよりも、首にひき臼を懸けられて、海に投げ込まれてしまう方がましである。3 あなたがたも気をつけなさい。もし兄弟が罪を犯したら、戒めなさい。そして、悔い改めれば、赦してやりなさい。4 一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回、『悔い改めます』と言ってあなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」

5 使徒たちが、「わたしどもの信仰を増してください」と言ったとき、6 主は言われた。「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言っても、言うことを聞くであろう。」

7 あなたがたのうちだれかに、畑を耕すか羊を飼うかする僕がいる場合、その僕が畑から帰って来たとき、『すぐ来て食事の席に着きなさい』と言う者がいるだろうか。8 むしろ、『夕食の用意をしてくれ。腰に帯を締め、わたしが食事を済ますまで給仕してくれ。お前はその後で食事をしなさい』と言うのではなかろうか。

9 命じられたことを果たしたからといって、主人は僕に感謝するだろうか。10 あなたがたも同じことだ。自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならぬことをしただけです』と言いなさい。」

卓話：「日本より豊かなマラウイの話」スピーカー：竹中成行氏

今回の卓話は、富山 YMCA 福社会事務長で元青年海外協力隊で 2007 年 3 月～2009 年 4 月 2 年間アフリカのマラウイに派遣された竹中成行さんのマラウイでの活動と生活の経験をお話ししていただきました。マラウイは、アフリカの東南部に位置しており、多様で豊富な熱帯魚の生息しているマラウイ湖の西側にあります。鉱物資源などは少なく、戦争や内戦の起きない平和な国として知られています。

竹中さんは、大学を卒業し、7 年間大工の仕事をしたのちに青年会議協力隊に応募されました。もともと子どもの頃からボーイスカウトに参加し、リーダーも行なわれていました。そのため自然の中でのキャンプや生活が好きで、大工になったのもトム・ソーヤの冒険に出てくるツリーハウスを作りたいということが理由だそうです。

竹中さんは、マラウイで大工の専門学校の講師として働き、机やいす、そして、棺桶など実用品の制作を指導していました。マラウイの人々や食事、生活にも溶け込み、富山でゴスペルクワイアに加わっていたこともあり、教会を訪ね礼拝に出席するようになり、毎日のようにマラウイ語で歌うゴスペルを楽しまれていたということでした。卓話の中で、パワーポイントのプレゼンテーションに加えて、竹中さんとゴスペルの仲間が制作した DVD で楽しそうにアフリカのリズムで歌う青年時代の竹中さんの姿を見ることができました。最後には、竹中さんが持参したマラウイの太鼓を島田が適当に叩き、それに合わせて竹中さんがマラウイ語でゴスペルを突然歌いだされたのには、例会に出席したワイズ一同驚くと共に感動しました。

マラウイは、資源が乏しく、経済的に貧しい。電気も計画停電があり、電化製品は少ない。しかし、モノが無ければ自分で作る。そして、人々がいつも集い、輪になって踊りあう。そんな心豊かな生活を知ることができました。

